

## 聖書解釈基礎

## 1. 目的

- ・受講者は、礼拝等の説教を行うために聖書解釈の基礎を学ぶ。

## 2. 進め方

- ・テキスト「聖書を正しく読むために」を読み進め、課題を考察することで聖書解釈の基礎を学ぶ。

## 3. テキスト／参考文献

（テキスト）

- ・聖書を正しく読むために [総論] —聖書解釈学入門  
ゴードン・D・フィー、ダグラス・スチュワート著、和光信一 訳、関野祐二監修

（参考文献）

- ・文学ジャンル別聖書の読み方ガイド  
関野祐二著（いのちのことば 2008年3月号～2010年8月号掲載）  
いのちのことば社ホームページ参照

<http://wlpn.or.jp/inokoto/2016/04/26/文学ジャンル別聖書の読み方ガイド-新連載-第1/>

2020年3月4日閲覧

## 4. 課題等

（課題）

- ・課題は、一ヶ月に一つである。
- ・毎月、A、B、Cの三つの課題のうち、いずれか一つを選び、期限内に提出する。  
（4月と9月はA、Bの二つの課題からどちらか一つ）
- ・期限は各月の最後の土曜である。
- ・指定文字数は三千字以内（A4用紙）。
- ・課題の内容と締切日については、後日お知らせいたします。
- ・参考文献を用いた場合は必ず明記すること。
- ・締切を過ぎること、指定文字数を越えることは減点対象となる。

（リーディング）

- ・リーディングとは、各月の指定されたテキストの範囲を読むことである。
- ・各月のテキストの範囲は7. スケジュールを参照。

（進捗状況の確認）

- ・進捗状況の確認とは、リーディングの進捗状況を担当者にメールで報告することである
- ・受講者は担当者に読み終えたページを報告する。
- ・報告は月二回行う（第二・第四水曜）。

（スクーリング）

- ・学期に2回行う。
- ・1回2時限の計4時限である（1時限は50分）。
- ・原則、土曜日に実施される（詳細な日程は、後日、神学校から連絡がある）。

## 5. 提出先

- ・担当者のE-mailアドレス phi411.mitsuru@gmail.com

## 6. 評価

（課題）	12%／回	×	5回	=	60%
（リーディング）	4%／回	×	5回	=	20%
（進捗状況の確認）	1%／回	×	10回	=	10%
（スクーリング）	5%／回	×	2回	=	10%

基準		(対応採点)
A, A-	学習の期待値よりも優れている	90-100
B+, B, B-	学習の期待値に達している	80-89
C+, C, C-	学習の期待値に達していない	70-79
D	学習の期待値から非常に劣る	60-69
F	単位を与えることができない	0-59